

【大阪北部地震】

屋外より家の中の方が安心と、身をもって実感！

**2**

018年6月18日7時58分頃、大阪府北部を震源に発生した大阪北部地震。地震の規模はM6.1で、震源の深さは13km(ともに暫定値)。大阪府の5市区(大阪市北区・高槻市・枚方市・茨木市・箕面市)で最大震度6弱が観測された。

今回、関西方面を本拠地とするY工務店様のご協力のもと、京都府宇治市にお住まいのお施主様のもとに発生時の状況について取材にお伺いしました。お施主様は地震の直後、「自宅では電話の子機すら倒れてない」という内容のInstagram(インスタグラム)をアップ。それを目に留めたY工務店様が取材を申し込み、当社も同席致しました。



当時の様子を語るH様ご夫婦

Y工務店様: 大阪北部地震から1ヶ月。全壊は少ないとしても、半壊や一部破損などを含めると住宅被害は3万世帯以上といわれています。地震発生当時、ご家族は何をしていらっしゃいましたか？

お施主様: 僕は2Fリビングの横の和室に子どもと寝ていましたが、パキパキという音で目が覚めました。それで、瞬時に横で寝ている娘に覆いかぶさるようにしました。妻は当時シャワーを浴びていましたが、すぐさま出てきて、夫婦で「今、揺れたよね」と確認していました。それから急いでTVをつけてみると、地震速報が流れていました。でも、家中を見回したところ、倒れているものは何もなく、小さな娘もケロッとしていました。

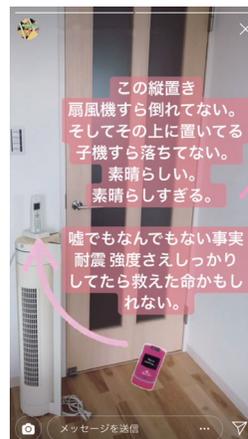
宇治市は震度5弱を観測

Y工務店様: 何事もなく本当に良かったです。揺れもそんなに感じなかったということですか？実は今回取材を申し込んだのは、奥様のInstagramを拝見したのがきっかけだったんですが、電話の子機は当時どこに置いてありましたか？

お施主様: うちではいつも扇風機の上に子機が置いてあるんですが、掃除機をかけていて不用意にあたると倒れてしまうぐらい不安定なんです。それなのに地震があっても倒れていなかったの、ビックリしてすぐInstagramにアップしました(笑) ※右画像

Y工務店様: 宇治市は震度5弱を観測しましたが、この辺りは被害がなかったのですか？

お施主様: 近くに住む実家に連絡すると、「死ぬかと思った」、「阪神・淡路大地震を思い出したよ！」というぐらい大きな揺れを感じたようです。



Instagram 投稿記事



実際においてある電話の子機

近くにできた新しい分譲地に住む友達と連絡を取り合いながらFacebookやInstagramをのぞいてみると、家具は倒れ、お皿や花瓶が割れて、家の中がぐちゃぐちゃだったお宅もありました。被害が大きいお宅では、壁やタイルにもヒビが入ったようです。僕は自宅の1Fで接骨院をやっているのですが、患者様のお宅では家具が倒れたり、壁にヒビが入ったりしたという話を聞いてビックリしました。本震の後に続いた余震もみんな怖がっていました。

千博産業:熊本地震でも、大きな地震が起きてからの余震で倒壊や損傷がひどくなったと確認しています。余震はどんな状況でしたか？

お施主様:携帯の緊急地震速報やTVでも何回か速報が流れましたが、我が家は何も感じませんでしたね。

千博産業:大きな地震が発生した際に、ほとんど揺れなかったということは、おそらくY工務店様の優れた耐震構造に加えて、制振装置evoltzが衝撃を吸収したからだと思います。H様の御自宅もそうですが、Y工務店様の設計図面をもとに当社で構造計算を行い、制振装置を加えることで、さらに安心な家を実現します。

お施主様:実は僕たちはマイホームを計画する際にマンションも検討していたので、鉄骨でできた免震構法なら地震に耐えられるだろうという認識がありました。けれども、うちの場合は接骨院の併設を予定していました。更に子どもが泣いても周囲を気にせずのびのびと過ごせるような家がいと考えていました。だから、店舗併用住宅を建てるのが一番良い選択だろうと考えて、Y工務店様に新築をお願いしたんです。それまでに「耐震」や「免震」という言葉は聞いたことがありますが、「制振」という言葉は耳にしたことがなく、Y工務店様のモデルハウスで制振疑似体験をした時に初めて知りました。



地震後も普段と変わらない2Fリビングの風景



H様御自宅兼店舗の2階建て

住宅用に開発された制振装置 evoltz

千博産業:制振装置は、すでにビルや大型建造物にも幅広く導入されています。ビルや大型建造物に用いられる制振装置の大きな特徴は「バイリニア特性」を備えていることです。この特性は、地震の揺れの大きさに関わらず、揺れの瞬間から減衰力を発揮し、建物の破損を防ぐ技術です。ただし、木造の一般住宅の場合は、コスト面や取付部のスペースなどの制約により「バイリニア特性を備えた制振装置」の採用が遅れているのが現状です。しかし、制振装置evoltzは特許技術として、この「バイリニア特性」を備え、揺れの瞬間から減衰力を発揮して建物を守ります。

Y工務店様:私たちが制振装置evoltzを採用するに至ったのも、昨日・今日の考えによるものではありません。当社の会長が昔、台風で家が流されそうになった経験があることから、「家は頑丈でなければならない」というのが創業当時から大切にしている当社のポリシーなのです。そして、頑丈だけでなく、長く快適に暮らせる家をご提供することが、この地域を守る住宅会社の使命だと考えています。

お施主様:地震が起こった時、小さな子どももいるので避難しなければという思いがありました。でも、今回の経験で家にいるのが一番安心できると身を持って実感しました。自分の家が安全だったからこそ、親やご近所の方々、友達の安否まで気にかけてあげることができたのだと思います。ですから、Y工務店様にはとても感謝しています。どうもありがとうございました。

Company information

千博産業 株式会社

- 設立：昭和57年4月 ■資本金：1997.5万円
- 所在地：〒433-8118 静岡県浜松市中区高丘西2丁目3番6号
- 電話番号/FAX番号：TEL 053-522-7766 / FAX 053-522-7866
- 取締役会長：渥美専治 ■代表取締役社長：渥美幸久 ■従業員数：23名
- 建設業許可：静岡県知事許可(般-27)第22398号
- 宅地建物取引業：静岡県知事(8)6176号
- 事業内容：制振装置事業 / 建材事業
- 事業沿革
- 2008年 制振事業部発足
- 2015年 「evoltz S042」発売開始
- 2016年 「evoltz L220」発売開始「evoltz S042」グッドデザイン賞2016受賞
- 2017年 「evoltz L220」グッドデザイン賞2017受賞
- 2018年 事務所移転、同時に制振装置業界初のショールーム開設



GOOD DESIGN AWARD 2016



GOOD DESIGN AWARD 2017